

フロンFRP防水面用プライマー

湿気硬化型一液ウレタン樹脂を主成分とした溶剤系のプライマーです。
FRP防水材改修時の塗替用プライマーとしてご使用できます。

特長

速乾性に優れています。
特殊ウレタン樹脂を使用している為、FRP防水面への密着性に優れています。

用途

FRP防水材の改修用プライマー。

トップコート:ゲルコート・アクリルウレタン系共に密着し、使用可能です。

上塗り可能製品

防水トップコート	床材
スーパートップ遮熱	AUコート
弾性トップ14	

上塗り可能製品の詳細は、各製品のカタログをご参照ください。

容量・荷姿

(外観:褐色透明液)

荷姿	塗装面積
16kg(石油缶入り)	0.15kg/m ² 、1回塗 106m ²
4kg(4kg角缶入り)	0.15kg/m ² 、1回塗 26m ²

FRP防水面の素地調整

- FRP防水材の表面にはワックス成分があり、上塗り可能製品との密着を悪くするので、アセトン拭きを行ってください。(もしくは研磨・目荒らしを行い、トップ14シンナーで拭き取ってください。)
- ゴミ、土等の異物は、施工前に清掃を行い、完全に除去し、下地を乾燥させてください。

標準施工仕様

1. トップコート塗替え仕様

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗り可能時間 (23℃)	備考
1	FRP防水材面	————	————	FRP防水面の素地調整を参照。
2	フロンFRP防水面用プライマー	0.15	1～12時間	原液のまま、ローラー、ハケにて塗布。
3	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.2 0.02～0.04	————	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、トップ14シンナーにて10～20%希釈後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※プライマー塗布後は、必ず12時間以内(23℃)に次工程に入ってください。

2. トップコート塗替え仕様

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗り可能時間 (23℃)	備考
1	FRP防水材面	————	————	FRP防水面の素地調整を参照。
2	フロンFRP防水面用プライマー	0.15	1～12時間	原液のまま、ローラー、ハケにて塗布。
3	AUコート トップ14シンナー	0.2 0.06	————	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、トップ14シンナーにて30%希釈後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※プライマー塗布後は、必ず12時間以内(23℃)に次工程に入ってください。

3. フローン防水材仕様

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備 考
1	FRP防水材面	————	————	FRP防水面の素地調整を参照。
2	フローンFRP防水面用プライマー	0.15	1～12 時間	原液のまま、ローラー、ハケにて塗布。
3	フローン防水材	2.0	24～48 時間	規定量の割合で計量、混合し、電動攪拌機で攪拌後、コテにて塗布。
4	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.2 0.02～0.04	————	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、トップ14シンナーにて10～20%希釈後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※プライマー塗布後は、必ず 12 時間以内(23℃)に次工程に入ってください。

※FRP防水面に割れ・ハガレ等が生じている場合は、フレ・破断の可能性があるので、避けてください。

施工上の注意事項

- 旧塗膜または、異物付着等の下地処理については、当社までご連絡ください。
- FRP防水材のトップコートには、ゲルコートタイプとアクリルウレタンタイプがあります。どちらの場合にもアセトン拭き、もしくは研磨・目荒らしを行い、トップ14シンナーで拭き取ってからフローンFRP防水面用プライマーを塗布してください。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないでください。
硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。
- フローンFRP防水面用プライマーを塗布後、12時間(23℃)以上経過しますと、上塗りが層間剥離を起こす恐れがありますので、12時間以上経過した場合には、目荒らしを行い、再度フローンFRP防水面用プライマーを塗布してから上塗りを施工してください。(施工時に降雨にあった場合も同じ)
- 施工時には、引火、爆発、中毒等の事故防止の為、充分換気し、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けてください。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。

取り扱い上の注意事項

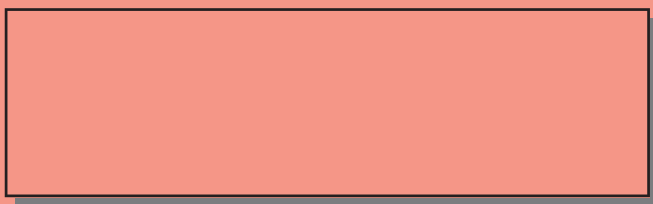
- フローンFRP防水面用プライマーは、湿気硬化型一液ウレタン樹脂ですから、空気中の湿気と反応します。開缶後は、速やかに使い切ってください。
- 材料は、冷暗所に保管し、火気に充分注意してください。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けてください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 直接皮膚に触れないよう充分注意してください。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。
- 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全法、その他に基づき充分な管理をお願いします。

※ アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸系疾患を有する人は、取扱いを避けてください。
(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)

容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工してください。

詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

●お問い合わせは.....



東日本塗料株式会社

本 社 / 〒124-0006	東京都葛飾区堀切 3 丁目 25 番 16 号	TEL. 03 (3693) 0851 (代)	FAX. 03 (3697) 2306
埼玉 工場 / 〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎 1 丁目 13 番地	TEL. 0480 (65) 1515 (代)	FAX. 0480 (65) 1518
仙台営業所 / 〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野 1 丁目 4 番 20 号	TEL. 022 (291) 7372 (代)	FAX. 022 (291) 7320
新潟営業所 / 〒950-0871	新潟市東区山木戸 3 丁目 7 番 9 号	TEL. 025 (273) 5749 (代)	FAX. 025 (274) 6730
静岡営業所 / 〒422-8037	静岡市駿河区下島 128 番地-1	TEL. 054 (238) 8061 (代)	FAX. 054 (238) 8063
北海道出張所 /		TEL. 090 (8586) 2214	FAX. 03 (3697) 2306

* 製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。